

令和4年度2年学年PTA集会 開会あいさつ

こんにちは。校長の山下です。本日、保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、足をお運びいただき有り難うございます

昨年の同じ時期にJR日南線が不通になりまして、通学が不便になっている生徒がおりました。今年も南郷駅から志布志方面が大きな被害を受けましたが、昨年と異なるのは復旧の見通しが立っていないところです。バスから列車への乗り継ぎや送迎など大変かと存じますが、よろしく願います。

校長あいさつは5分と言われておりますので、手短に3つお話しします。

まず、先日の振徳祭・体育の部のお礼です。

今年度の体育の部も天気に恵まれまして無事開催することができました。当日、お忙しい中、ご来校いただきました保護者の皆さまに改めてお礼申し上げますとともに、各家庭で応援いただきましたことに対しまして、改めて感謝申し上げます。

併せまして、11月の文化の部もよろしく願います。

次に、生徒の活躍の状況です。

部活動や教科の発表会・競技会での入賞が増えています。特に農業、商業、工業高校と学習成果を競い合って、対等もしくはそれ以上の成果を収めていることは、本校の専門教育のレベルの高さを証明していると思います。例えば、地域農業科が意見発表部門で最優秀賞、農業鑑定競技の部で上位3位を独占したり、情報処理競技では団体・個人のそれぞれの部門の1位を取っていますので、2年生には自信を持って来年度に向けて頑張ってもらいたいと思っています。

最後にスマートフォンについてのお願いになります。生徒指導部からも説明があると思いますが、スマートフォンにつきましては条件を付けて、校内への持ち込みを許可していますが、使用は制限しております。

先日、ある保護者の方が、「本校生徒の登下校中の歩きスマホが大変危険で、そのうち悲惨な事故が起こりそうで心配」と話しておられました。

この本(*)は、スウェーデンの精神科医、アンデシュ・ハンセン博士の「スマホ脳」です。2年前に出版されて、世界中でベストセラーとなりました。この本によりますと、そもそも人間の脳はスマホに適応していないために、精神疾患の原因になると書かれています。

そして、その症状は具体的に7つ挙げられています。

- ①思考力・判断力の低下
- ②コミュニケーション力の低下
- ③集中力の低下

- ④意欲の低下 ⑤感情コントロール力の低下 ⑥痛みに敏感になる
⑦原因不明の体調不良

スマホを使用している時の脳は、お酒を飲んでいる時と同じ状態になるとのことですが、お酒が法律で規制されているのとは違って、スマホにはそれがありません。

また、アップル社を創業したスティーブジョブズ氏はこうした精神疾患に罹ることがわかっていたので、自分の子どもにはスマホやタブレット端末を使わせなかったというのは有名な話のようです。

現在、国を挙げてタブレット端末による授業を推進していますので、決して、スマホやタブレット端末を使うなということではありませんが、この当たりのさじ加減を大人の責任で検討する必要があります。

そして、この本には、スマホを使うことによる精神疾患を回避する方法についても書かれています。それは非常に簡単で「使用時間を制限すること」、「運動すること」、「睡眠を十分取ること」で回避できるとのことです。

この3つの留意事項を生活に当てはめると、「学校にいる間は使わない」、「通学や体育の授業、部活動で体を動かす」、「決められた時間に寝る」、その際「寝室とは別の場所にスマホを置く」ということを実践し、その実践の合間には使っても差し支えないと解釈できます。

しかし、この実践で重要なのは、御家庭の力なくしては実現できないということです。いろいろとお願い事が多くて恐縮ですが、大切なお子様が、進路実現を果たし、将来にわたって安心・安全な生活を送ることができる人になれますよう、学校の指導方針への御理解と御協力をお願いいたします。

本日は修学旅行の説明の他、各部主任からの説明や学級懇談が予定されています。最後までよろしく願いいたします。

令和4年10月18日
校長 山下 勉

(*) 「スマホ脳」(新潮新書) 2020年11月20日発行
アンデシュ・ハンセン 著 (久山葉子 訳)